

●個別ネットワークの活動状況とセミナーでの報告予定内容

(1)普及活動に係る知的財産の取扱い

- ・担当弁護士・弁理士：平井佑希先生
- ・現在の参加者数：13名、参加機関数：9機関
- ・第1回（10月20日）：ノウハウ共有と取組事例の紹介
- ・第2回（11月26日）：現場で実行性のある対応策の検討
- ・第3回（12月18日）：ライセンス契約に関するお悩み相談と事例共有
- ・第4回（1月20日）：実施許諾後の取扱いや現場対応

<セミナー報告内容>

平井先生からライセンス契約やノウハウ管理に関する実務的な運用について、特に普及活動における知財との接点について解説いただきます。また、佐賀県から普及活動における実務的な悩みや対応について共有いただきます。

(2)知財部1年生向け勉強会

- ・担当弁護士：外村玲子先生、羽鳥貴広先生
- ・現在の参加者数：24名、参加機関数20機関
- ・第1回（10月8日）：農業／農林水産に係る知的財産制度の概要
- ・第2回（11月17日）：種苗法基礎
- ・第3回（12月15日）：契約基礎
- ・第4回（1月15日）：商標基礎

<セミナー報告内容>

外村先生・羽鳥先生から、知財分野の中でも特に質問が多かった「種苗法」「契約」「商標」について、知財部1年目の担当者でも理解しやすいよう、ポイントを絞って解説いただきます。また、農研機構生研支援センターから、個別ネットワーク活動を通じて得られた知見や気づきを共有いただきます。

(3)ひな形を見直す会

- ・担当弁護士：池田幸雄先生
- ・現在の参加者数：18名、参加機関数12機関
- ・第1回（10月15日）：契約書ひな形の確認ポイント
その後、専門家の支援の下、各機関でひな形の見直しを実施
- ・第2回（1月16日）：ひな形見直し後の気づきや共通課題を共有

<セミナー報告内容>

池田先生から、契約書のひな形を見直す際のポイントについて、今回の個別ネットワーク活動の実体験をもとに整理していただきます。実際にひな形を見直した際、どのような観点で修正を行っ

たのか、また複数機関で共通して浮かび上がった重要なチェックポイントに絞って解説します。また、三重県から、実際にどのように契約書のひな形を見直したか、実務者にとっての意義を共有いただきます。

(4)侵害対応

- ・担当弁護士：松本好史先生、大堀健太郎先生
- ・現在の参加者数：11名、参加機関数：7機関
- ・第1回（10月20日）：侵害対応のガイドラインに関する事例共有
- ・第2回（11月26日）：フリマサイトにおける権利侵害対応
- ・第3回（12月18日）：東京都等の他機関における侵害対応事例の紹介
- ・第4回（1月20日）：税関による水際取締り

<セミナー報告内容>

松本先生・大堀先生から、公的研究機関が育成者権など知的財産権の侵害に直面した際に、どのようなポイントに留意して対応すべきかをダイジェストでご報告します。

また、東京都から、実務者として実際に知的財産権侵害に対応した事例や、現場で直面した課題についてご紹介いただくとともに、和歌山県から、本活動を通じて得られた知見や気づきを共有していただきます。

<次回の配信予定>

テーマ：知財事件簿・仮想相談事例 #3

配信時期：2月10日頃

<メルマガのバックナンバー>

下記HPよりこれまで配信された全てのメルマガをご覧ください。

ぜひ、気になる情報をチェックしてください。

URL：<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/mailmagazine.html>

※メールマガジン記事の無断複製、無断転載を禁じます。